

# 博物館だより

◇平成12年度 関西大学博物館 開館日数・入館者数（入館者数は3月16日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	24	21	19	18	5	10	23	18	17	13	11	6	185
入館者数	809	1368	180	342	459	160	324	845	99	46	39	21	4692

◇平成12年度 考古学入門講座「着る・飾る—衣食の歴史とその意味—」の開催  
10月28日(土)から11月25日(土)まで、毎土曜日5回の講座を行い、合計876名の受講者がありました。

◇平成12年度 博物館購入資料  
・インド祇園精舎発掘佛足レプリカ  
・インド舎衛城発掘罌口レプリカ

◇平成12年度 博物館受贈資料  
・中国文房諸具55点（詳細については先号掲載）  
・泊園印石 130点  
・打掛資料 7点（詳細については本号掲載）

◇平成12年度 博物館収蔵資料の補修  
・庇付冑付挂甲の補修  
・国府遺跡出土玦状耳飾装着頭骨レプリカ作製

◇平成13年度 関西大学博物館企画展ならびに博物館講座の開催について

平成13年4月5日(月)～5月21日(土)の間、企画展「インド・パキスタンの古代都市—都市と村の暮らし～古代から現代～」を関西大学博物館第2展示室で開催します。

また、企画展に関連した博物館講座を、4月28日(土)午後1時から3時半まで行います。演題と講師については次のとおりです。

「インド・パキスタンの古代都市—都市と村の暮らし～古代から現代～」

関西大学助教授 米田 文孝氏

関西大学大学院博士課程 上杉 彰紀氏

どちらも入館・聴講は無料です。多数のご来場をお待ちしています。



打掛の写真撮影風景



国府遺跡出土玦状耳飾装着頭骨レプリカ

## 編集後記

『肝陵』第42号をお届けいたします。上井久義館長、藤善真澄教授、松浦章教授、また西川卓志氏（西宮市立郷土資料館）、井溪明氏（堺市教育委員会）には玉稿をいただきました。ご執筆してくださいました先生方には感謝申し上げます。

今年度は、本号に紹介いたしましたように、羽間平安理事長より打掛7点の寄贈がありま

した。今後、博物館で存分に活用していきたいと考えております。

表紙写真は、羽間平安理事長寄贈の打掛「茶縹子地垣に秋草雁紋様染縹振袖」で、季節や題をおりこんだ振袖です。

関西大学博物館彙報 No.42 平成13年3月31日 発行  
関西大学博物館 編集  
ナニワ印刷(株) 印刷